

空の安全を守る燃焼試験

航空機用燃焼試験における試験データの習得と信頼性向上

アピールポイント

- ✓ FAR燃焼試験に対する豊富な知見
- ✓ 試験精度向上に向けた外部機関との連携



内装品一例* (表示板)

技術の特徴

- 企業と連携した様々な航空機内装品向けの垂直燃焼試験による試験結果の蓄積・データ拡充
- 他試験機関と連携して、燃焼試験結果に及ぼす試験条件（試験環境、試験装置等）の影響等の調査、技能向上

企業へのご提案

FAR燃焼試験にご興味をお持ちの方、航空機に搭載される内装品の試験を行いたい方、都産技研では、**英文の試験報告書の発行、航空局立ち合い試験の実績**もございますので、お気軽にご相談ください。



JQA-AS0233
航空機規格対応試験

技術の概要

燃え拡がり方向
バーナー
燃焼長さ

左：垂直燃焼試験 結果の一例 右：垂直燃焼試験 結果の一例 下：水平燃焼試験

✎ **FAR**（米国連邦航空規則）で定められた**航空機内装品向けの燃焼試験**を実施可能。法改正や異なる材料を組み合わせた内装品に対応するためデータの取得を行っています。

国内の試験場と連携し、**試験精度向上**に向けた比較試験を共同で実施。

FAR規格対応燃焼試験機

水平燃焼試験における試験結果比較の一例

TIRI
S-BIRD
PVC Perpendicular Cut with Conditioning 2022/08/30 14:32
PET Perpendicular Cut with Conditioning 2022/08/30 14:40

【関連資料】

H. Kinoshita et al., 10th Triennial International Aircraft Fire and Cabin Safety Research Conference (2022).

共同研究機関 山王テクノアーツ株式会社*、公益財団法人南信州・飯田産業センター

物理応用技術部
機械技術グループ
中澤 誠人